

磯丸の作ったまじない歌

磯丸は生涯に数万首の歌を作ったと言われています。その中の「まじない歌」は、民衆の喜びや祈り、困りごとや願いごとが叶えられるよう、頼まれるままに歌にしたものです。まじない歌には、次のような歌があります。

【火ぶせの歌】

火事がおこりませんように

雨あられ 雪もこおりも かきつめて
火ぶせにむすぶ 水くきのあと



【ねずみよけの歌】

ねずみが家の中のものをあらしませんように

いかでかく ねずみおきすみ 夜もすगर
人のすみ家の ものあらすらん



【病いの治る歌】

病気が早く治りますように

すませただ 心しきよく すみぬれば
病は水の あわときえまし



【むしばの治る歌】

むしばの痛みが早く治りますように

かかるとて はもりの神の いとはるる
いたくなふきぞ はなのしたかせ



近くに医者もない薬もないという、不安な時代に生きた昔の人々にとって、磯丸のまじない歌は、薬以上に心のよりどころとなり、不思議と病気が治ったり軽くなったりしたと言われています。ある殿様が、「病気の治る歌を詠むと聞いたがそれは本当か。」とたずねました。磯丸は、「決して病気が治るということはありませんが、皆さんが私の歌によって必ず病気が治ると信じて下さるから、私はみなさんの心がやすまるように歌を詠んでいるのです。」と答えています。